

美濃加茂市では、市内に残る貴重な文化財の保存・保護活動ばかりでなく、調査・普及活動をおこなっています。みのかも文化財ノートは、市内の文化財に関連しておこなわれた様々な事業を紹介するものです。平成23年3月18日、美濃加茂市教育委員会が開催され、「絹本着色仁済和尚像」「絹本着色十六善神図」(共に瑞林寺[蜂屋町上蜂屋]所蔵)の2件が、美濃加茂市指定文化財に指定されました。今回の新たな指定により、美濃加茂市指定文化財は36件となりました。

## まもる

### 美濃加茂市指定有形文化財

#### けん ほん ちやく しょく じん ざい お しょう ぞう 絹本着色仁済和尚像

本図は永正16年(1519)4月の仁済和尚自賛がある頂相です。賛やその他の個所について補筆や補彩が見られますが、当初の画様が比較的よく残っています。近年には修復も行われたため、図の状態は良好です。

仁済和尚は瑞林寺の開山であること、また本図の制作年も室町時代と推定されることから、大変貴重なものです。

瑞林寺では、毎年10月17日に開山忌法要として本図を本堂正面に掲げ、仁済和尚の遺徳をしのぶ機会としています。

種別：絵画 時代：室町時代後期 所蔵 瑞林寺



絹本着色仁済和尚像



絹本着色十六善神図

#### けん ほん ちやく しょく じゅう ろく ぜん じん ざう 絹本着色十六善神図

本図は、大般若経とその護持者を守護する善神が描かれています。釈迦仏を中央に配置し、左右に文殊、普賢菩薩などと十六善神を左右に八体ずつ描き加えています。保存状態は良好でなく、一部に補彩が見られるものの、その描写は精緻です。制作時の様子をよく知ることができるため、貴重な作品です。近年には、修復も行われました。

瑞林寺では、毎年元旦から6日までの間、本図を本堂に掲げています。

種別：絵画 時代：室町時代後期 所蔵 瑞林寺



修復された「木造如来坐像」  
写真提供 江場仏像彫刻所

## つたえる

### 美濃加茂市指定有形文化財の修復

「木造如来坐像」(種別：彫刻)が約1年間の修復作業を終え、平成23年2月28日に瑞林寺へ無事に納められました。

3月30日からはじまる瑞林寺本尊「木造聖観音坐像 附胎内仏」の御開帳と合わせて、4月2日に開眼式が執り行われる予定です。

まもる

## 国天然記念物ネコギギの保護活動

平成21年7月25日から26日にかけての梅雨前線豪雨により、伊深町内の河川に土砂が堆積し、三和町内の護岸が被災しました。これに伴う災害復旧工事が平成23年1月から2月にかけて行われました。工事区間には、これまでの調査で国指定天然記念物のネコギギの生息が確認された箇所があったため、工事着工前に生物調査を実施しました。本工事区間内で2回の生物調査を実施し、計122匹のネコギギを保護、現在は岐阜県河川環境研究所で保護しています。河川に生息するその他の生物数と種類が、工事着工前の環境に近づくのを待って、ネコギギを再度放流する予定です。



生物調査



保護されたネコギギ

まもる

## 文化財防火デー

1月26日(水)には、重文旧太田脇本陣林家住宅、太寧寺(加茂川町)など含めた市内5カ所において、消火訓練と立入検査が行われました。文化財を火災などの災害から守るために、管理する方だけでなく、地域の方々や消防署をはじめとした関係機関の協力を得て進められました。



消火訓練(旧太田脇本陣林家住宅)



無銘宝篋印塔(蜂屋町上蜂屋)

ひろめる

## 市指定有形文化財 無銘宝篋印塔

蜂屋町には、中世に造立された宝篋印塔ほうきょういんとうが数多くみられます。なかでも指定文化財となっているものは、南北朝時代から室町時代初期にかけてのものと推定されています。相輪の上部にある宝珠が失われているものの、高さは108cmあります。今年度は老朽化した文化財標柱の修繕を行いました。

まもる・しらべる

## 埋蔵文化財の保護

美濃加茂市開発事業指導要綱に基づく1,000㎡以上の開発計画が22件、砂利及び岩石採取協議会で協議対象となったものが7件、その他埋蔵文化財包蔵地の照会が145件ありました。そのうち、試掘確認あるいは工事立会について意見及び対応したものが47件あり、埋蔵文化財保護に関する指導等を行いました。また、深渡A地点遺跡(下米田町)及び牧野小山遺跡(牧野)において、岐阜県文化財保護センターによる発掘調査が実施されました。